

詩と音楽が恋をして

Dialog



(C) 深堀瑞穂



(C) Takanori Ishii

谷川俊太郎 (たにかわ・しゅんたろう)

1931年東京生まれ。詩人。1952年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。1962年『月火水木金土日の歌』で第四回日本レコード大賞作詞賞、1975年『マザー・ゲースのうた』で日本翻訳文化賞、1982年『日々の地図』で第34回読売文学賞、1993年『世間知らず』で第1回萩原朔太郎賞、2010年『トロムソコラージュ』で第1回鮎川信夫賞など、受賞・著書多致。詩作のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞など幅広く作品を発表。近年では、詩を釣る iPhone アプリ『谷川』や、郵便で詩を送る『ポエメール』など、詩の可能性を広げる新たな試みにも挑戦している。

福田進一 (ふくだ・しんいち)

1955年大阪府生まれ。パリ・エコール・ノルマル音楽院を首席で卒業。1981年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後30年以上にわたり、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協奏曲、超一流ソリストとの共演を続け、日本を代表するギタリストとして国際的な評価を獲得している。教育活動にも力を注ぎ、その門下から鈴木大介、村治佳織、大萩康司といったギター界の実力派スターたちを輩出している。現在、上海音楽院、大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、昭和音楽大学の客員教授を務める。ディスコグラフィは、すでに90枚を超えている。2007年度外務大臣表彰。2011年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

詩人・谷川俊太郎氏とクラシックギタリスト・福田進一氏の対談を交えながら、谷川氏による自作詩の朗読と福田氏によるギターの演奏をお楽しみください。

『詩は音楽にならなかった言葉であり、音楽は言葉にならなかった詩である。』

ヘルマン・ヘッセの言葉 (ドイツの詩人・小説家、ノーベル文学賞受賞者 / 1877~1962)

2019年

3/2 (土) **午後2時~4時** (開場:午後1時30分)

- 会場** 杉並区立中央図書館(荻窪3-40-23) 地下視聴覚ホール
- 定員** 60名(申込先着順) **対象** 幼児以上
- 申込方法** 2月2日(土)午前9時から、電話または中央図書館カウンターでお申込みください。
- 問合せ先** 杉並区立中央図書館 ☎03-3391-5754

展示「谷川俊太郎の世界」開催中 [2019年3月31日(日)まで]

杉並区に生まれ育った詩人・谷川俊太郎氏の著書・書・写真パネルの他、自筆原稿や谷川氏が愛用しているTシャツなどを展示しています。また、谷川氏が朗読したCDの試聴コーナーもあります。

協力: ナナロク社

杉並区立中央図書館

QRコード



主催: 杉並区立中央図書館